



MESSAGE NOTES

互いに赦し合う Part 2

エペソ人への手紙 4:2-3

ブラウン・ジェームズ

1. 家族の結束

エペソ人への手紙 4:2-3 謙遜と柔軟の限りを尽くし、寛容を示し、愛をもって互いに耐え忍び、平和の絆で結ばれて、御靈による一致を熱心に保ちなさい。

神様は私たちが愛をもって一致していることを望んでおられます。神様ご自身の家族だからです。神様は愛に満ちた天の父であり、私たちはその子供です。家族であっても、私たちはお互いについて語るとき、言葉を交わすとき、どのように語るべきか注意が必要です。皆、キリストにあって兄弟姉妹だからです。

2. 敵を愛しなさい

I ペテロの手紙 2:23 ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、脅すことせず、正しくさばかれる方にお任せになった。

イエス様は敵をどのように赦すかについて、最も良い模範を私たちに残してくださいました。彼らからの侮辱や脅しに反応することなく祈されました。「父よ、彼らをお赦しください。自分が何をしているのかが分かっていないのです。」と。これが、神様が私たちに示された赦しです。そしてそれは、私たちも、周りの人々に示すことのできる赦しなのです。

3. 神様に手放す

使徒の働き 7:60 そして、ひざまずいて大声で叫んだ。「主よ、この罪を彼らに負わせないでください。」こう言って、彼は眠りについた。

不正や不公平を神様に委ねることは、他の人を赦す上で非常に重要です。私たちは、この地上で受けたあらゆる不正は、神様が埋め合わせてくださることを知っています。そしてそれだけでなく、神様は永遠にわたって私たちを愛し続けてくださるのであります。